

消費税増税中止・

国税通則法改悪で1月班会開催

安倍首相はデフレ不況打開策をとり、なんとしてもGDPを2%引き上げて2014年4月から消費税8%を実施しようとしています。消費税増税中止、国税通則法対策を強める2月10日の税金研修会前に、1月班会を今各支部で開催しています、会員さんから次のような意見や感想が出されています。

北支部

「金融緩和はお金のバラマキ、大型公共工事をしても景気は良くなりません。我々におこぼれこない。労働者の賃金上げる方が早く景気よくなるはずだ。」

千里山支部

「インボイス制度が導入されたら、商売からはじきとばされる。免税点がなくなる。」「軽減税率導入には業界の利権がからんだり、TPPを通したりとどうなるんや。」「軽減税率導入は、消費税上げるためのパフォーマンスにしかならない。」

吹田市の国民健康保険料が値上げになる話題では、「申告所得で国保料が決まるので生活に響いてくる。これ以上値上げされたら生活できない。」

江坂西支部

1月入会されたばかりのスナックの会員さんも参加され、「消費税お客さんからもらってない。」「インボイスが導入されたら実務が大変になる。」「参議院選挙で決着付けないとあかん。」「積極的な発言があり、別の会員さんからは「民主党政権の時子ども手当がもらえると喜んで、扶養控除からはずされた税金負担痛い、政権が代わり年少扶養控除が撤廃され、復活されるかと思ったのに変わらない。」2月10日の研修会に行くようにしたいと参加された会員から声が出ていました。

あい川支部

「軽減税率で消費税還付されるのは良いと思ったが、インボイス制度が導入され納税者番号制で全部分かるのはあかんやん。それやったら増税せん方がまし。」

「いままでは領収書や請求書で申告の計算をしていた。去年から毎日帳面を付けるようにした、売上が落ち込んでいるのがよくわかった、生活は夫婦で年金をもらっているから何とかなっているが、赤字の時は年金から店の経費を負担している。これ以上売上減ったら商売できない。」

「今後の商売のこともあるので税金研修会には、息子にも参加するように言っている。」

吹田革新懇再開準備会 第2回政治を語るつどい
朝日新聞記者 伊藤 千尋さん講演会
国際情勢からみた平和憲法

2013年
とき 2月21日(木)
午後7時開会
場所 さんくすホール
JR吹田駅すぐ さんくす1番館4階
資料代 500円

講演 国際情勢からみた平和憲法
市民の声が広がれば、国は変えられる
伊藤 千尋さん
朝日新聞記者

山口県生まれ。1974年入社。サンパウル支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長、アエラ編集部などを経て現職。
著書に「反米大陸」「活憲の時代」「燃える中南米」「太陽の汗、月の涙」「たたかう新聞『ハンギョレ』の12年」「歴史は急ぐ……東欧革命の現場から」など。各地で原発問題、憲法問題で勢力的に講演。

2004年以来、活動を休止していた吹田革新懇再開にむけて、第2回「政治を語るつどい」を開催いたします。

- 全国革新懇では、
- 1.日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
 - 2.日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
 - 3.日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。
- の3つの共同目標をかかげ、政治的共通の広がり呼びかけています。

昨年の衆院選では、改憲勢力が議席を増やし、原発問題、TPP、消費税増税などで国民世論に背を向けた国政がすすむもとで吹田での革新懇運動の再開に向けて積極的な参加をよびかけます。



主催：吹田革新懇再開準備会
事務局 吹田市職員労働組合 電話 06-6386-4428

会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょう
商工新聞は経営のヒント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう